連続テレビ小説「あんぱん」

ご当地限定 スペシャルインタビュー

南国市ごめん町で育ったやなせたかしさんと妻・暢さんの人生をモデルに描く、連続テレビ小説「あんぱん」（NHK）の放送が、いよいよ始まります！ 昨年11月22日、主人公・朝田のぶを演じられる今田美桜さんへの取材会が開かれ、やなせさんご夫婦や高知県、ドラマの見どころをたっぷり語っていただきました。

8月のよさこい祭り、9月のクランクインの際に南国市へお越しいただき、ありがとうございました！ 高知の印象や思い出、気に入った食べ物などがあれば教えてください。

とても濃密すぎて、高知県でロケをした日がとても懐かしい楽しい思い出になりつつあるんですけど、とにかく今ロケも寒くなってきて、本当に高知の灼熱の太陽が恋しいです。

そのくらい、本当に恵まれた天気でスタートができてとてもうれしかったなと思いながら、そして高知県庁、香美市役所、南国市役所にお邪魔して、あんなに温かく迎えていただけたのが、本当にとても安心して、「これだけ期待していただけている」というのと、「もう既に一緒に作り上げてもらっているんだな」っていう安心感がすごくあり、ほっとしました。

食べ物はいっぱい食べたけど、やっぱりカツオですかね。本当においしかったです。毎日のようにいただいていました。たくさんお土産もいただいて、ポン酢に感動しています。今絶賛、お鍋の季節になってきて、お鍋と一緒に、それこそカツオが入ったポン酢に感動して日々高知を感じています。

▲昨年９月クランクイン取材会（琴ヶ浜）

今田さんが演じる主人公のモデル・暢さんは「ハチキン」だったと言われていますが、今田さんの「ハチキン」な部分や暢さんに似ていると思うところはありますか。

小さいときから私も活発な方ではあったので、「ハチキン」という部分は何となく近しいのかなと思います。あとはのぶは長女で、下に河合優実さん演じる蘭子と原菜乃華さん演じるメイコがいて、3人姉妹。私も一番下は弟なんですけど3人姉弟の長女なんですね。なので、今いろいろと演じていて、お姉ちゃんだからこそ「分かるな」と思う部分が出てきています。ハチキンとちょっとずれたかもしれないんですけど、そこは似ているというか、共感しながら演じています。

ドラマの中で「ここに注目してもらいたい」というところはどこですか。

いっぱいありすぎてピックアップするのがすごく難しいんですけど、それぐらいどのシーンも素晴らしいです。明るいシーンはとっても明るいんですけど、逆にそうじゃないシーンもたくさんあります。暢さん、そしてやなせさんがこれまで歩まれてきた苦しさとか、大変さとか、そういうのもしっかり描かれているので、それがあるからこそ明るいところはすごく輝かしく見えますし、そういう人間誰しもあるものがいろいろ描かれていて、そこも見どころの一つです。

「ごめん」という地名にちなんで、今田さんの言いそびれた「ごめん」や撮影中の「ごめん」エピソードを教えてください。

朝田家は、阿部サダヲさんが演じる「風来坊のパン職人・屋村草吉」が作るあんぱんを食べるシーンがよくあるんですね。いつも平らげてごめんなさい（笑）。すごくおいしくて、いつも満腹にあんぱんを食べまくっています。

▲やなせさん発案
「ハガキでごめんなさい」コンクール

漫画家、絵本作家、詩人など、マルチクリエイターのやなせさん。今田さんから見たやなせさんの印象を教えてください。

やなせさんは本当に数々の作品を残されて、どれも見たことありますし、みんなが知ってる、誰もが通るといいますか、それに元気をもらって勇気をもらって。でもいろいろとやなせさんのことを知っていくと、とても人間らしいプラスな感情もマイナスな感情も全部愛して肯定してくれる。だから、もちろんユニークなんですが、「普通の人」なんだなと思いました。

作品を見ていると、すごい悲しいお話もたくさんあったりするじゃないですか。そんな中にも優しさとかいろいろあって、いつも「そっか、自分はこのままでいいのか」って思わせてくれるような、背中を押してくれるような作品がたくさんあり、やっぱりすごく安心しますね。自分を愛してあげていいんだなって思えるような。

ドラマでも描かれるとは思うんですけど、やなせさんは戦争やいろんなことを経験されて、そういう全てのことから全部を包み込んでくれるような優しいところが感じられて、複雑な感情もそのまま包み込んであげたくなるような気持ちにさせてもらえるので。

「優しい」の最上級の言葉ってないんですかね（笑）。ずっと考えているんですけど、もう「優しい」じゃ足りないその優しさ、愛ある優しさがすごく大好きですね。